



# 白石市民春まつり

～片倉公まつり～

晴天に恵まれた5月3日、白石の春の風物詩「白石市民春まつり～片倉公まつり～」が開催され、約3万2千人の人出でにぎわいました。恒例の「しろいし大行列」では、神明社の神輿渡御を先頭に、稚児行列や太鼓山車、子ども神輿などが続き、約千人が参加。すまいる大使の山崎パニラさんや戦国武将隊「奥州片倉組」も駆け付け、まつりににぎわいを与えてくれました。

また、恒例の「白石市消防団伝統階子乗り隊」がまつりに花を添えました。

白石城では、今年で10回目となる「片倉鉄砲隊」の火縄

銃演武と、設立10周年を迎えた「よさこい走乱白石城」のよさこい演舞が行われました。「片倉鉄砲隊」の演武では、「礼砲」が放たれた後、「膝放ち」「中放ち」など4種類の古式による砲術演武が披露され、「ズドン」という大きな轟音と白煙が上がるたび、大きな歓声と拍手で会場が沸きました。

さらに、「よさこい走乱白石城」のよさこい演舞には、山崎パニラさんが駆け付け、パニラさんが作詞・作曲し、「よさこい走乱白石城」のメンバーが振り付けした「白石よござりす」が披露され、会場は、楽しそうに歌ったり、踊ったりする人たちの笑顔であふれていました。

